

人生の節目にお寺がある



人生には、たくさんの節目があります。その一つひとつの節目を私たちは大切にしていまいりました。それは、竹は節があることで折れることなくしなやかであるように、私たちの人生もその節目を大切にすることで、人生に押し寄せる様々な出来事をしなやかに受けとめてきたのでしょう。仏教でも、この人生に起こってくる悲喜の節目を縁として、この「いのち」をしっかりと見つめてまいりました。ぜひ人生の節目にはお寺にお参りいただき、一緒にこの「いのち」、そしてこの人生の歩みを確かめる時といたしませんか？この節目を縁として集う方々とともに、阿弥陀さまの前で手を合わせていただくことを願っております。

発行
 真宗大谷派（京都・東本願寺）
 東京教区 教化委員会 広報出版部門
 〒177-0032 東京都練馬区谷原 1-3-7
 TEL:03-5393-0810 FAX:03-5393-0814
 mail:tokyo@higashihonganji.or.jp



寺印

とし いわ
**お寺で年祝い
 しませんか？**



真宗大谷派
 （京都・東本願寺）

❖ 人生の節目、そして新たな機縁 ❖

これまで決して順風満帆ではなかった。
 ときに辛いこともあった。
 いま振り返ってみるとそれも大切な出来事。
 多くの方とのご縁に恵まれて、
 なんとかやって来られました。
 人生の節目は新たな機縁、
 これからもしっかりと歩んでまいります。

❖ 歳を「重ねる」歩みを ❖

歳は「取る」ものではなく「重ねる」もの。もちろん、年を追うごとに何かを失っていく感覚があるが、これまで出会いや経験を積み重ねてきたことも事実。

「年祝い（還暦、古希、喜寿、傘寿…）」は、これまでの出遇いや積み重ねてきた経験など、自分の「人生の物語」を阿弥陀さま（阿弥陀あみだ如来にょらい）の御前で確かめる機会でもあります。

ぜひ、「年祝いのお参り」を縁として阿弥陀さまに手を合わせ、南無阿弥陀仏の教えに出遇われることを願っております。



● 年祝いのお参りって？

阿弥陀さまの前でみなさんとおつとめ（勤行）をし、お坊さんのお話があります。



● どんな服装がいいの？

特に決まりはありません。無理のない服装でお越しください。



● お寺でお祝い？

年祝いを機縁として、これまでの歩みを確かめ合い、それぞれの新たな出発を阿弥陀さまの前で祝います。



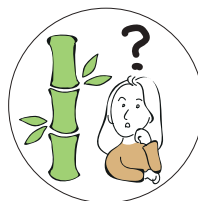
● いつどこでできるの？

ご希望の日にかや場所（本堂・ご自宅など）については、お寺までご相談ください。



● 人生の節目ってどんなとき？

ひとつの目安として、還暦・古希・喜寿や銀婚・金婚などの節目があります。



● 写真を撮っていいの？

阿弥陀さまを前に思い出に残る写真をお撮りください。
※撮影の際はひと声おかけください。

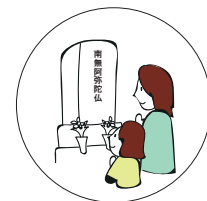


● お参りの時間はどれくらいですか？

30分程度です。詳しくはお寺までお尋ねください。

● 法事や墓参りと併せて行えますか？

年祝いのお参りのみがか難しいようであれば、ご法事やお墓参りの際に併せて行うこともできます。お寺までご相談ください。



年祝いのお参り プログラム（例）

1. 開式の言葉
2. おつとめ（勤行）
3. お祝いのことば
4. 記念撮影

※詳しくはお寺までお尋ねください。

年祝いをご縁として『帰敬式』を受式しませんか？

帰敬式は「おかみそり」とも言われ、真宗門徒として新たな人生を歩み出すことを誓う大切な仏事です。受式されますと、仏弟子としての名（名前）である「法名」が授与されます。この機会に受式されてはいかがでしょうか。詳しくはお寺までお問い合わせください。

